

第 134 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：平成 17 年 3 月 19 日（土） 13:00～17:30

場所：青山学院大学 総合研究所ビル 9 階第 15 会議室

出席者：福田，鳶，古橋，戒野，鷺尾，石淵（記），長谷川，山田

欠席者：萩原，榎木，柴田

オブザーバー：谷，高間

資料：134-1（議題：石淵）

134-2（第 133 回理事会の議事録案：石淵）

134-3（学会賞の英語名称案：古橋）

134-4（寺野先生の追悼記事の掲載案：萩原）

134-5（学会出版物の電子化：萩原）

134-6（著作権規定案：萩原）

134-7（多重投稿の防止策：萩原）

134-8（基金規定案：長谷川）

134-9（J-Stage 利用案：鷺尾）

134-10（事業計画案：鷺尾）

134-11（支部等からの提出書類：鷺尾）

134-12（交付金リスト：長谷川）

134-13（2005 年 2 月月次報告：長谷川）

議事

1. 前回議事録の確認

第 133 回理事会の議事録が承認された。

2. 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への参加継続について

横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への参加を継続することが承認された。
なお、来年度の参加費は 5 万円である（今年度は 3 万円）。

3. 第 48 回自動制御連合講演会 / 第 1 回横幹連合コンファレンスへの協力について

横幹連合から協力要請のあった第 48 回自動制御連合講演会 / 第 1 回横幹連合コンファレンスに関して、S O F T としては費用の負担や運営委員の推薦を伴わない参加学協

会として協力することが承認された。また、関連して、鷲尾理事より、S O F T 関連分野での企画セッションを事業委員会で企画する予定であるという報告が行われた。

4. 学会賞の英語名称について

古橋副会長より、学会賞の英語名称案の提案が行われ、議論された。実施賞の英語名称に関しては、古橋副会長により次回の理事会までに再提案が行われることになった。他の学会賞の英語名称に関しては、以下のように決定された。

功労賞：Distinguished Service Award

業績賞：Distinguished Achievement Award

論文賞：Best Paper Award

著述賞：Outstanding Book Award

奨励賞：Young Investigators Award

貢献賞：Distinguished Contributions Award

5. 寺野名誉会員の追悼記事の掲載について

萩原理事の代理で高間論文委員長より、寺野名誉会員の追悼記事の学会誌への掲載に関する説明が行われた。

6. 学会誌の電子化について

萩原理事の代理で高間論文委員長より、学会出版物の電子化に関して編集委員会で検討を続けているという説明が行われた。

7. 著作権規定について

萩原理事の代理で高間論文委員長より、著作権規定案に関する説明が行われたが、次回の理事会で再提案されることになった。

8. 多重投稿の防止について

萩原理事の代理で高間論文委員長より、投稿案内の該当箇所を引用する形で投稿申込書に多重投稿の禁止を明記したという説明が行われた。

9. 基金の設立について

長谷川理事より、日本知能情報ファジィ学会基盤振興基金規程(案)の提案が行われ、文言の修正後に承認された。なお、2005年4月以降に1000万円という金額で基金を設立することも決定された。

10. 学会叢書の出版について

戒野理事より、学会叢書の出版に関する進捗状況の説明が行われた。

11. J-Stage の利用提案

鷲尾理事より、FSS2005 での J-Stage の利用に関する提案が行われ、以下の4点が承認された。

- (1) FSS2005 の論文抄録を J-Stage で制限なしに一般公開すること。
- (2) FSS2005 の論文全文の J-Stage での公開は学会員に限定すること。
- (3) J-Stage で使用する FSS2005 のロゴに関しては FSS2005 実行委員会に一任すること。
- (4) FSS と SCIS で J-Stage を利用すること (J-Stage の利用は2大会に限定)。

12. 次年度事業計画

鷲尾理事より、次年度事業計画が説明された。なお、必要書類の迅速な提出を促すために、必要ならば、個々の支部・研究部会・ベンチャー研究会からの事業報告、事業計画、決算報告、予算計画に関する必要書類の提出状況をメールにより理事会へ報告することになった。

13. 次年度予算

長谷川理事より、次年度予算が説明された。申請額の合計が 549,000 円である事業補助金に関しては、総額を 45 万円にすることが決定された。なお、個々の支部・研究部会への補助金の金額に関しては、総額が 45 万円になるように、申請書に基づいて事業委員会で決定することになった。

14. 会計月次報告

長谷川理事より、2005 年 2 月の会計月次報告が行われた。

15. 総会準備について

石淵理事より、総会準備の日程説明が行われた。

16. その他

(1) 次期理事会への申し送り事項

福田会長より、次期理事会への申し送り事項として、学会が資格を認定する資格認定制度について検討して欲しいという要望が出された。

(2) 会費滞納者への対応

長谷川理事より、会費滞納者に関する報告が行われ、次回の理事会において会費滞納者に対する具体的な対応を検討することになった。

(3) 学会関連の研究分野の推進

学会関連の研究分野を推進するための特別委員会や特別プロジェクトなどに関して検討を続けることになった(例: ソフトコンピューティング研究推進特別委員会の設置など)。

(4) 学会規程の書式

古橋副会長より、学会規程の書式に関する説明が行なわれた。具体的には、規程の条文のなかに番号が必要な場合は、定款と同様に以下のような書式にするということである。

< 日本知能情報ファジィ学会定款 >

第10条 学会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 理事 4名以上10名以内
4. 監事 2名
5. 評議員 100名以内